

## 第2回 SNS 相談員研修会のご報告

2018年2月18日（日）、トランスコスモス株式会社大阪本部にて、SNS 相談員を養成するための「第2回 SNS 相談員研修会」を開催し、約40人の相談員の方々にお集まりいただきました。

現在、全国 SNS カウンセリング協議会では、厚生労働省が定めた自殺対策強化月間（3月）に向けて行う「SNSによる相談事業」の実施を受け、相談事業の窓口として利用する「LINE」にマッチした相談技法や活用の手順を、カウンセラーの方々に習得していただくことを目的に研修会を実施しています。

今回は先週の東京研修会に続き2回目で、関西地域での開催は初めてとなります。

今回の研修者の多くが、昨年試行した長野県のLINEいじめ相談事業の経験者で、前回の東京研修会と比べ、更に深化した研修内容になりました。

冒頭の挨拶で、三川剛代表理事は「この会場には、長野のSNS相談事業の経験者が多数いらっしゃり、本日はこの分野で最先端の研修会が行われます。座間の殺害事件では、被害者の中に死にたいと思う人間が1人もいなかった。このような不幸な事件が二度と起きないように、SNSカウンセリングの経験者であり、高いレベルを有する皆様には是非ともご協力を賜りたい」と述べ、研修を受講した相談員に期待を寄せました。

午前の研修では、前回同様、昨年長野県で実施したLINEいじめ相談事業で、相談員として担当した臨床心理士の宮田智基氏が講師を務め、LINE相談の特性に合わせたカウンセリング手法や実施手順などテキストを使って伝え、SNS相談の背景や意義についての理解を深めていただきました。

午後は、実際のSNS相談チャットツールを使い、シミュレーション実技研修を行いました。

研修会では相談員の方々からは、「親御さんなど第3者からの相談についてはどうしたらよいか?」「SNSいじめ相談では、友達のことと言いつつ、本人のことと思われる相談があった」「長野では『あなたならどう思う?』という相談が多かった。自己開示は必要なのか?」といったSNSカウンセリング相談の経験者ならではの質疑や意見が出されました。

なお、今後は2月28日に東京で第3回研修会が行われます。後日、本サイトにてご報告いたします。

